

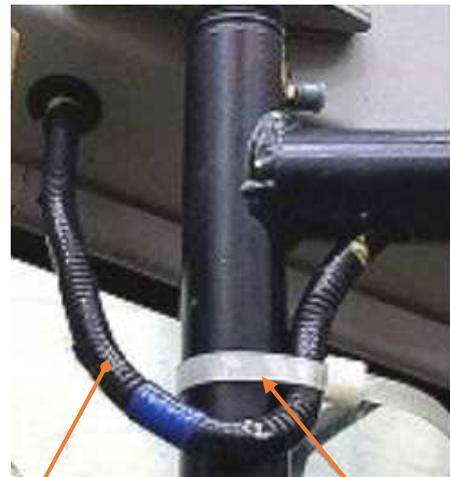
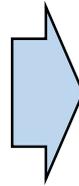
改善箇所説明図



《改善後》



基準不適合発生箇所



大型バスにおいて、オプション設定されているフロントドアガラスヒーターの配線の固定方法が不適切なため、ドア開閉時にアーム部（上側水平バー）の配線に局所的な曲げが生じるものがある。そのため、そのままの状態で使用を続けると、ドア開閉に伴って当該配線が繰り返し曲げられることで配線が断線し、発煙が生じるおそれがある。

改善措置の内容

全車両、暫定措置として、フロントドアガラスヒーター配線の固定方法を対策仕様に変更する。また、当該配線を点検し、不具合発生部に断線が認められた場合は当該配線を新品に交換する。

なお、対策が決定次第、恒久対策を実施する。

注：□ は不具合発生部に断線が認められた場合に新品と交換する配線を示す。

識別：作業完了車には、車両左後方点検リッド裏に「HB198」の文字が記載された白黄色のシールを貼付ける。